

EPM

EDIUS Project Manager

ユーザーズガイド

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) EDIUS / エディウスおよびそのロゴは、グラスバレー株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (9) Intel、Pentium、Xeon、CoreDuo、Core は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (10) QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- (11)  Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- (12) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は PC の基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的な PC の操作と同様に行ってください。
- 本書では、EDIUS Elite や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。
- 本書では、EDIUS Project Manager を「EPM」と表記します。
- 本書では、Microsoft® Windows® 7 operating system を Windows 7 (Ultimate、Professional、Home Premium、Home Basic の総称) と表記します。

警告

健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

EPM
ユーザーズガイド
November 9, 2012
Copyright © 2012 Grass Valley K.K.
All rights reserved.

目次

1 ご確認

ご使用の前に	5
ご使用に当たっての留意事項	5
当社ホームページ	5

2 インストール

EPM Client のインストール	6
--------------------	---

3 起動時の操作

EDIUS プラグインのインストール	9
--------------------	---

4 ユーザーアカウントの管理

ユーザーの作成	12
ユーザーのプロパティの確認	17
ユーザーの削除	18

5 EPM Client の操作

EPM Client の画面構成	19
起動・終了	20
EPM Client を起動する	20
EPM Client を終了する	20
編集権限の確認	21
プロジェクトの管理	21
フォルダーを新規作成する	21
プロジェクトを新規作成する	22
プロジェクトリストの文字表示色について	23
プロジェクトのプロパティを確認する	23
プロジェクトを別のフォルダーへ移動する	24
プロジェクトを別のフォルダーへコピーする	25
プロジェクトを削除する	25
ごみ箱のプロジェクトを削除後の経過時間で絞り込む	26
ごみ箱へ削除したプロジェクトを元に戻す	26
ごみ箱のプロジェクトを完全に削除する	27
ごみ箱を空にする	27

目次

EDIUS との連携	28
複数のクライアント PC でプロファイルを共有する	28
EPM Client から EDIUS でプロジェクトファイルを編集する	29
EPM Client からプロファイルを切り替える	30
プロジェクトの検索	31
プロジェクトを検索する	31
検索条件を保存して検索する	32
各種設定	33
表示言語を切り替える	33

6 補足事項

よくあるご質問	34
ログインできない	34
ログの取得について	34
【参考】 資格情報の設定方法	35
EPM Client のアップデート	36

ご確認

ご使用の前に

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む間接損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。製品本来の使用目的および、当社が推奨する使用環境下以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。また、CPUなどを規格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して、他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオプログラム等に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送またはインターネット送信によって取得する音声・映像）を録音・録画する場合の注意点は、下記の通りになります。

- 著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とするときで、その使用するものが複製または編集をする場合等を除き、その複製または編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、または権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者から許諾を受けて、複製または編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾なく複製または編集等をして、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組込む場合も同じ）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください

著作権侵害の可能性は、使用環境によって異なりますので、事前にお客様の顧問弁護士に確認されることをお勧めいたします。

当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページ（<http://pro.grassvalley.jp>）にて発信しています。当社製品の最新のドライバ、ユーティリティ、アプリケーション、製品マニュアル（PDF形式）、FAQなどを公開していますので、当社ホームページにぜひアクセスいただき、快適なビデオ編集環境を実現してください。

インストール

EPM Client のインストール

EPM Client をインストールします。

ご注意

- EPM Client をインストールするクライアント PC には、EDIUS Elite 1.02 以降がインストールされている必要があります。
- インストール作業を開始する前に、現在起動しているアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

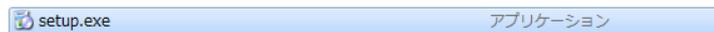
1 クライアント側 PC から下記のパスにアクセスする

¥¥NAS-Storage¥EDIUS-NAS¥EPM¥Setup

POINT

- サーバー共有フォルダーの「EDIUS-NAS」を V: ドライブに割り当てている場合は、下記のパスにアクセスしてください。
V:¥EPM¥Setup

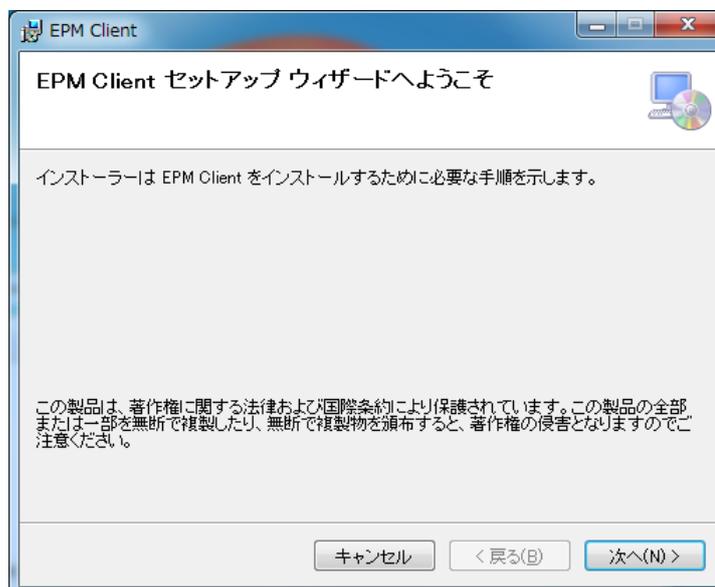
2 EPM Client のインストールイメージの [setup.exe] をダブルクリックする



ご注意

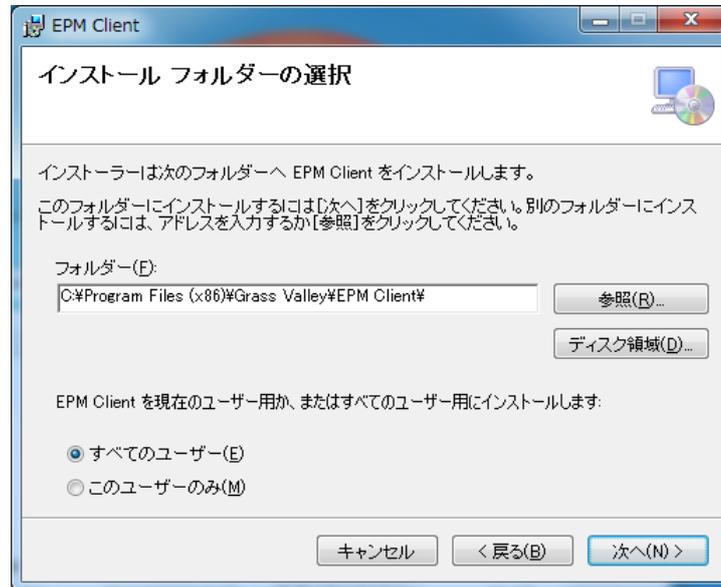
- 「Microsoft .Net Framework 4 Client Profile」がインストールされていない環境では「Microsoft .Net Framework 4 Client Profile」のセットアッププログラムが起動します。画面にしたがってインストールを行ってください。

3 [次へ] をクリックする



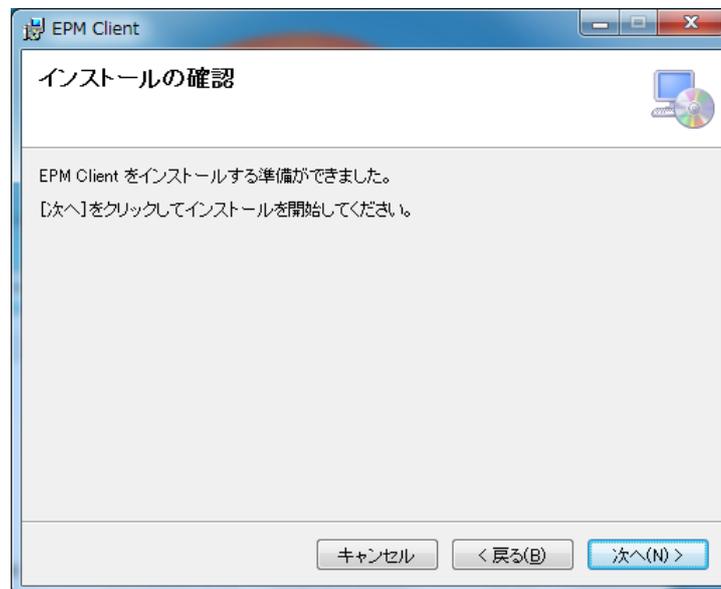
4 「次へ」をクリックする

EPM Client のインストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、任意の場所を指定してください。



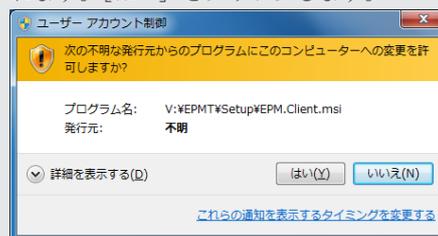
5 「次へ」をクリックする

インストールを開始します。

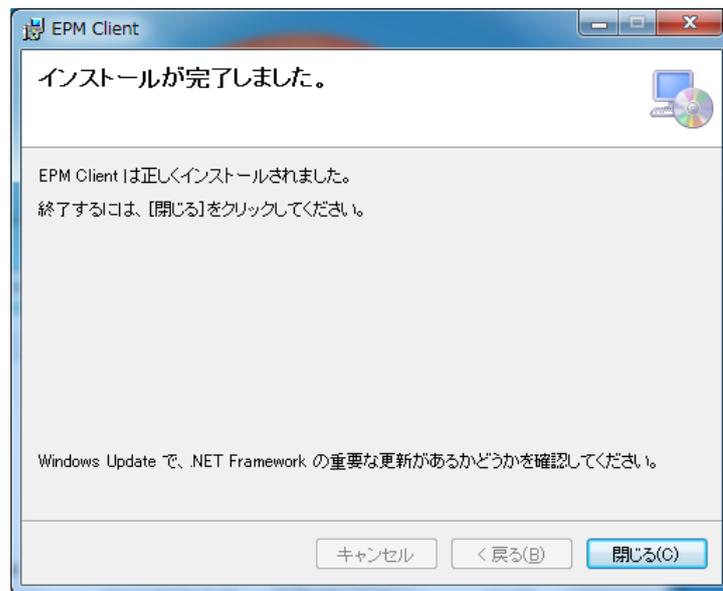


ご注意

- インストール時、管理者権限が必要な場合は下記のダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。



6 [閉じる] をクリックする



以上で EPM Client のインストールは完了です。

起動時の操作

EDIUS プラグインのインストール

EPM Client の初回起動時、または EPM Client のアップデート時に EDIUS プラグインが更新された場合、インストール済みの EDIUS を最適化するためのプラグインをご使用の環境にインストールします。下記の手順で EDIUS プラグインをインストールしてください。

1 デスクトップの [EPM Client] アイコンをダブルクリックする



その他の方法

- ・ [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] → [Grass Valley] → [EPM Client] をクリックします。

2 ユーザー ID、パスワード、サーバー名を入力し、[接続] をクリックする

ユーザー ID : 「ユーザーの作成」で設定したユーザー ID

パスワード : 「ユーザーの作成」で設定したパスワード

サーバー名 : 接続するサーバーの IP アドレスまたはサーバー名 (EWGNAS の場合、サーバー名は NAS-Storage です。)

ユーザーの作成 ▶ P12

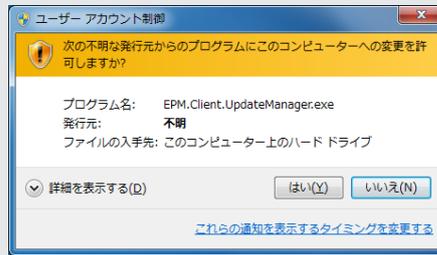


POINT

- ・ 初回ログイン時は、下記のビルトイン管理者ユーザーのユーザー ID、パスワードでログインしてください。
 - ユーザー ID : admin
 - パスワード : admin
 - サーバー名 : 接続するサーバーの IP アドレスまたはサーバー名 (EWGNAS の場合、サーバー名は NAS-Storage です。)
- ユーザーアカウントの管理 ▶ P12

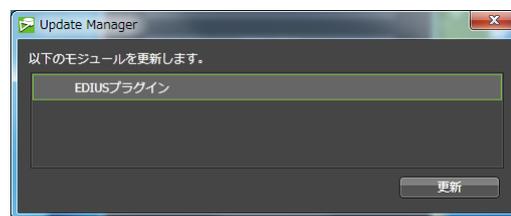
ご注意

- [ユーザー ID を保存する]、[パスワードを保存する] にチェックを入れると、次回起動時にユーザー ID、パスワードの入力を省略できます。
- EDIUS プラグインのインストール時、管理者権限が必要な場合は下記のダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。

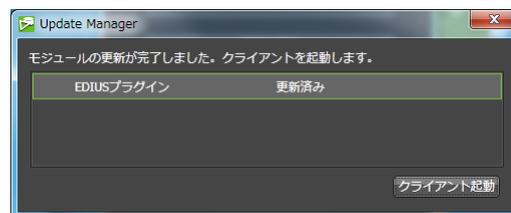


3 [更新] をクリックする

プラグインのインストールを開始します。



4 [更新済み] と表示されていることを確認し、[クライアント起動] をクリックする



EPM Client が再起動します。

ユーザーが作成されていないサーバーに接続する場合は、続いて、「ユーザーの作成」の手順 2 以降の操作を行ってください。

ユーザーの作成 ▶ P12

5 EPM Client が再起動後、ユーザー ID、パスワード、サーバー名を入力し、[接続] をクリックする

ユーザー ID：「ユーザーの作成」で設定したユーザー ID

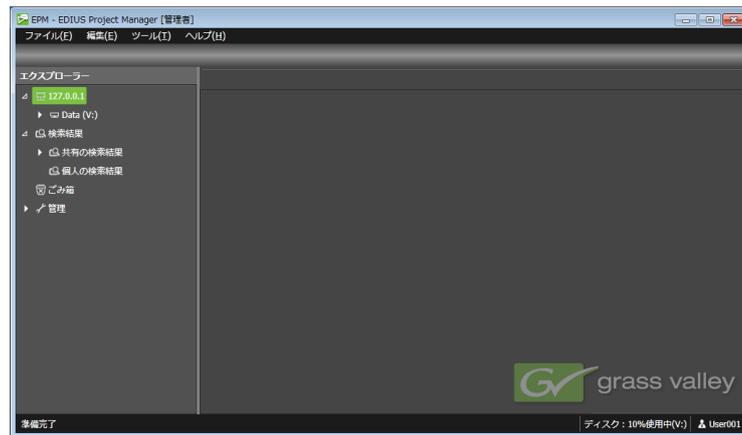
パスワード：「ユーザーの作成」で設定したパスワード

サーバー名：接続するサーバーの IP アドレスまたはサーバー名（EWGNAS の場合、サーバー名は NAS-Storage です。）



EDIUS プラグインのインストール

ログインが正常に行われると、EPM Client が起動します。



以上で EDIUS プラグインのインストールは完了です。

ユーザーアカウントの管理

ユーザーの作成

EPM Server では、デフォルトでビルトイン管理者ユーザーが作成されます。初回起動時、ユーザーが作成されていないサーバーに接続する場合は、下記の手順でユーザーを作成する必要があります。

ユーザーを新たに追加する場合も同様の操作でユーザーを作成できます。

ご注意

- ビルトイン管理者ユーザーまたは管理者ユーザーのみがユーザーを作成できます。

1 デスクトップの [EPM Client] アイコンをダブルクリックする



その他の方法

- [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] → [Grass Valley] → [EPM Client] をクリックします。

2 管理者ユーザーのユーザー ID、パスワードおよびサーバー名を入力し、[接続] をクリックする



POINT

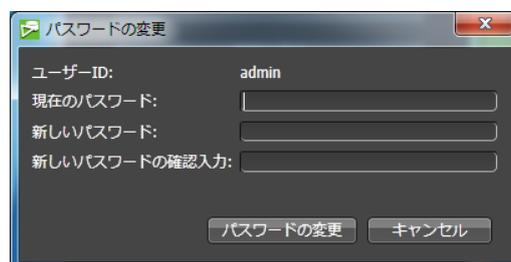
- 初回ログイン時は、下記のビルトイン管理者ユーザーのユーザー ID、パスワードでログインしてください。
 - ユーザー ID : admin
 - パスワード : admin
 - サーバー名 : 接続するサーバーの IP アドレスまたはサーバー名 (EWGNAS の場合、サーバー名は NAS-Storage です。)

初回ログイン時のみ、ビルトイン管理者ユーザーの [パスワードの変更] ダイアログが表示されます。

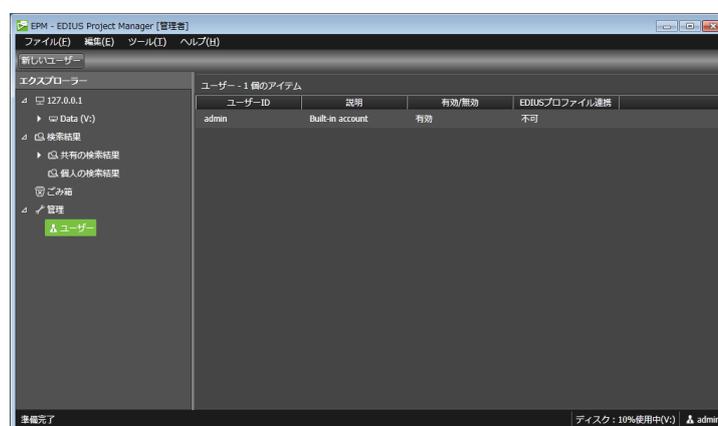
次回ログイン時以降にユーザーを追加する場合は、手順 4 に進んでください。

3 現在のパスワードと新しく設定するパスワードを指定し [パスワードの変更] をクリックする

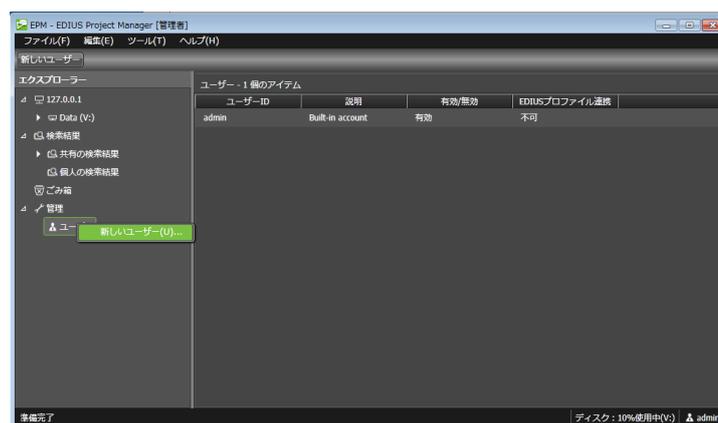
パスワード変更完了後、EPM Client が起動します。



4 画面右下のログインユーザー名が [admin] と表示されていることを確認する



5 エクスプローラーペインの [管理] のツリーをクリックし、[ユーザー] を右クリック → [新しいユーザー] をクリックする



[新しいユーザーの作成] ダイアログが表示されます。

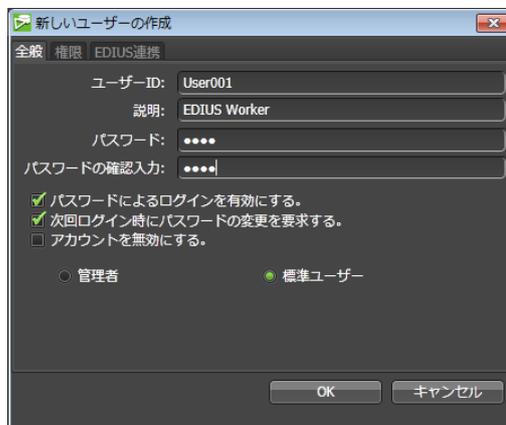
その他の方法

- ユーザーリストで右クリックし、[新しいユーザー] をクリックします。
- ツールバーの [新しいユーザー] をクリックします。

6 ユーザー作成に関する設定をする

◇ [新しいユーザーの作成] ダイアログ

◆ [全般] タブ

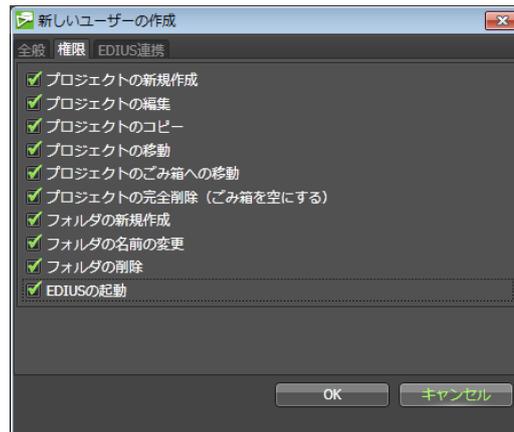


項目	内容
ユーザー ID	新規作成するユーザー名を入力します。 EDIUS で使用するユーザープロフィール名と同じ名前にしておくと、EDIUS との連携がスムーズにできます。(EDIUS では、EPM Client でログインしているユーザー ID と同じ名前のユーザープロフィールが自動的に使用されます。)
説明	ユーザーについての説明を入力します。 入力した内容は、ユーザーリストの [説明] に表示されます。
パスワード	新規作成ユーザーのパスワードを入力します。
パスワードの確認入力	パスワードを再度入力します。

項目	チェック時の動作内容
パスワードによるログインを有効にする。	ログイン時にパスワードの入力を要求します。
次回ログイン時にパスワードの変更を要求する。	次回ログイン時に [パスワードの変更] ダイアログが起動します。
アカウントを無効にする。	ログインが不可になります。

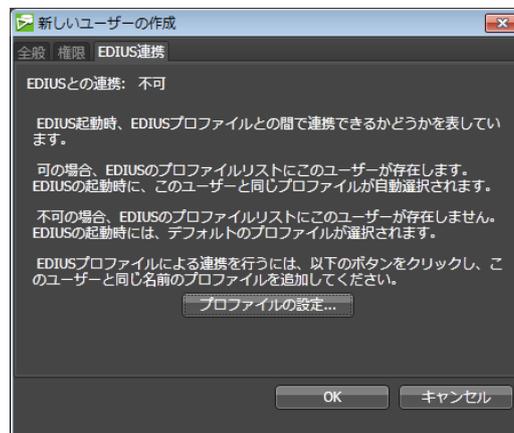
項目	選択時の動作内容
管理者	ユーザーアカウント管理を含むすべての操作が可能です。
標準ユーザー	各ユーザーに設定された権限に基づいて操作可能です。 初期設定では、ユーザーアカウント管理を除くすべての操作が可能です。

◆ [権限] タブ



標準ユーザーに許可する操作にチェックを入れます。操作を制限する場合はチェックを外します。

◆ [EDIUS 連携] タブ



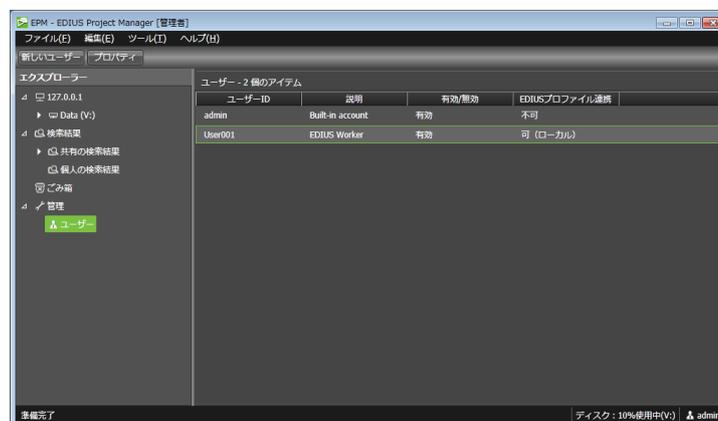
EDIUS と連携するには、[全般] タブで設定したユーザー ID と同じ名前のユーザープロフィールを使用します。

必要に応じて、[プロフィールの設定...]をクリックして、ユーザー ID と同じ名前のプロフィールを作成してください。

複数のクライアント PC でプロフィールを共有する ▶ P28

7 [新しいユーザーの作成] ダイアログで [OK] をクリックする

新規作成したユーザーがユーザーリストに表示されます。



POINT

- ユーザー一覧を最新の状態に更新するには、ユーザーリストで右クリックし、[最新の情報に更新] をクリックします。

8 メニューバーの [ファイル] をクリックし、[終了] をクリックする

EPM Client を終了します。

9 デスクトップの [EPM Client] アイコンをダブルクリックする

EPM Client を再起動します。

10 手順 6 で作成したユーザーでログインする

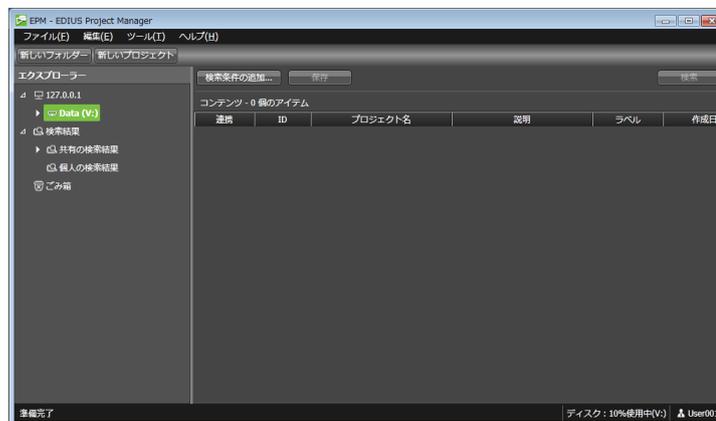


EPM Client が起動します。

ご注意

- [新しいユーザーの作成] ダイアログで [次回ログイン時にパスワードの変更を要求する。] にチェックを入れている場合、[パスワードの変更] ダイアログが表示されます。新しいパスワードを設定し、[パスワードの変更] をクリックしてください。

11 画面右下のログインユーザー名が、手順 6 で設定したユーザー ID と一致していることを確認する



以上でユーザー作成は完了です。

ユーザーのプロパティの確認

作成したユーザーのプロパティを確認、編集します。

ご注意

- ビルトイン管理者ユーザーまたは管理者ユーザーのみがユーザーのプロパティを確認できます。

1 ビルトイン管理者ユーザーまたは管理者ユーザーでログインする

「ユーザーの作成」の手順1～2を参照してログインします。

2 エクスプローラーペインの【管理】のツリーをクリックし、【ユーザー】をクリックする



3 ユーザーを選び、【プロパティ】をクリックする



ユーザーのプロパティのダイアログが表示されます。

設定項目は、[新しいユーザーの作成] ダイアログと同じです。

[新しいユーザーの作成] ダイアログ▶ P14

その他の方法

- ユーザーを選んで右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ユーザーを選び、メニューバーの [ファイル] → [プロパティ] をクリックします。

ユーザーの削除

作成したユーザーを削除します。

ご注意

- ビルトイン管理者ユーザーまたは管理者ユーザーのみがユーザーを削除できます。

1 ビルトイン管理者ユーザーまたは管理者ユーザーでログインする

「ユーザーの作成」の手順1～2を参照してログインします。

2 エクスプローラーペインの【管理】のツリーをクリックし、【ユーザー】をクリックする



3 ユーザーを選んで右クリックし、【削除】をクリックする



その他の方法

- ユーザーを選び、メニューバーの【編集】 → 【削除】をクリックします。

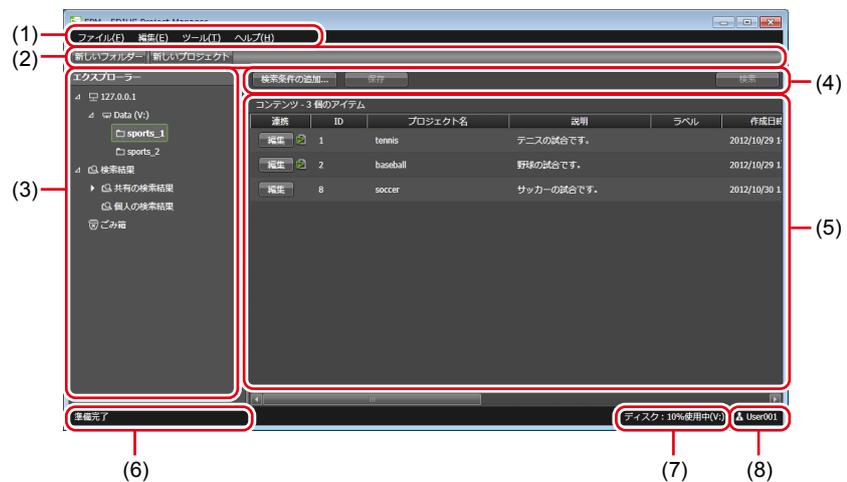
4 【はい】をクリックする

POINT

- ユーザー一覧を最新の状態に更新するには、ユーザーリストで右クリックし、【最新の情報に更新】をクリックします。

EPM Client の操作

EPM Client の画面構成



(1) メニューバー	クリックすると、関連メニューが表示されます。
(2) ツールバー	操作ボタンが表示されます。
(3) エクスプローラー ペイン	サーバー共有フォルダー (V: ドライブ)、検索結果、ごみ箱のフォルダーが表示されます。
(4) 検索バー	エクスプローラーペインで、サーバー共有フォルダーと検索結果を選んでいるときに表示されます。 プロジェクトの検索時に使用する操作ボタンが表示されます。
(5) プロジェクトリスト / ユーザーリスト	エクスプローラーペインで選んだフォルダー内のプロジェクトが一覧で表示されます。 [ID] や [プロジェクト名] などの項目をクリックするたびに、昇順、降順を切り替えることができます。 管理者ユーザーでログインした場合は、ユーザー一覧も表示されます。
(6) ステータスバー	現在のステータスが表示されます。
(7) ディスク使用量	サーバー共有フォルダーの使用量が表示されます。
(8) ユーザー ID	現在ログインしているユーザー名が表示されます。

POINT

- バージョン情報を表示する場合は、メニューバーの [ヘルプ] → [バージョン情報] をクリックします。

起動・終了

EPM Client を起動する

- 1 デスクトップの [EPM Client] アイコンをダブルクリックする



その他の方法

- ・ [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] → [Grass Valley] → [EPM Client] をクリックします。

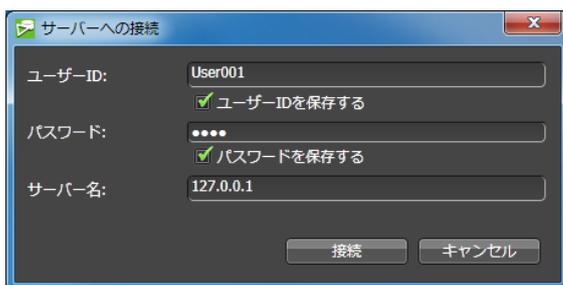
- 2 ユーザー ID、パスワードおよびサーバー名を入力し、[接続] をクリックする

ユーザー ID : 「ユーザーの作成」で設定したユーザー ID

パスワード : 「ユーザーの作成」で設定したパスワード

サーバー名 : 接続するサーバーの IP アドレスまたはサーバー名 (EWGNAS の場合、サーバー名は NAS-Storage です。)

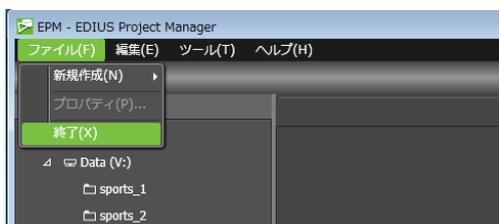
ユーザーの作成 ▶ P12



EPM Client が起動します。

EPM Client を終了する

- 1 メニューバーの [ファイル] をクリックし、[終了] をクリックする



その他の方法

- ・ EPM Client の画面右上の [×] をクリックします。

編集権限の確認

EPM Client や EDIUS を使用する際に、管理者ユーザーが許可している操作や制限している操作を確認します。

1 メニューバーの [ツール] をクリックし、[編集権限の確認] をクリックする

チェックが入っている項目は、操作が許可されています。

プロジェクトの管理

ご注意

- 管理者ユーザーと、管理者ユーザーがプロジェクトの管理操作を許可している標準ユーザーのみ下記の各種操作ができます。

フォルダーを新規作成する

サーバー共有フォルダー内に、プロジェクトの保存先フォルダーを新規作成します。

1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] をクリックする

2 [新しいフォルダー] をクリックする



既存のフォルダー内に、フォルダーを追加することもできます。

POINT

- フォルダーは5階層まで作成できます。

その他の方法

- 手順1の後、メニューバーの [ファイル] をクリックし、[新規作成] → [フォルダー] をクリックします。
- エクスプローラーペインでサーバーをクリックし、[Data (V:)] を右クリックし、[新規フォルダー] をクリックします。

3 フォルダー名を入力し、[追加] をクリックする

ご注意

- フォルダーパスの文字数の合計は、100文字以内にする必要があります。100文字を超えると、フォルダーおよびプロジェクトの新規作成・名前の変更・コピー・移動ができない場合があります。フォルダーパスの文字数は、次の操作で確認できます。フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。プロパティの [場所:] に表示されるフォルダーパスの文字数を確認してください。

POINT

- フォルダーの名前を変更するには、エクスプローラーペインでフォルダーを右クリックし、[名前の変更] をクリックします。
- フォルダーを削除するには、エクスプローラーペインでフォルダーを右クリックし、[削除] をクリックします。
- 最新の状態に更新するには、エクスプローラーペインでフォルダーを右クリックし、[最新の情報に更新] をクリックします。
- フォルダーのプロパティを確認するには、エクスプローラーペインでフォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

プロジェクトを新規作成する

サーバー共有フォルダー内に、プロジェクトを新規作成します。

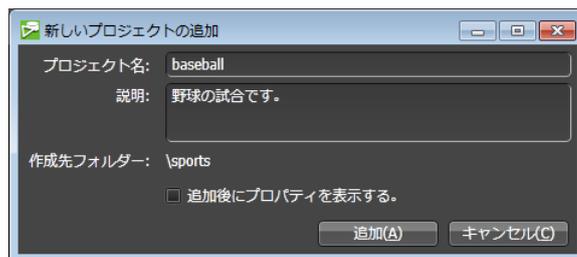
- 1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] → プロジェクトの保存先フォルダーをクリックする
- 2 [新しいプロジェクト] をクリックする



その他の方法

- メニューバーの [ファイル] をクリックし、[新規作成] → [プロジェクト] をクリックします。
- プロジェクトリストの空白部で右クリックし、[新規プロジェクト] をクリックします。

- 3 プロジェクト名や説明を入力する



[説明:] に入力した内容は、プロジェクトリストの [説明] に表示されます。

POINT

- [追加後にプロパティを表示する。] にチェックを入れると、プロジェクトのプロパティが表示されます。
プロジェクトのプロパティを確認する ▶ P23

- 4 [追加] をクリックする

ご注意

- フォルダーパスの文字数の合計は、100文字以内にする必要があります。100文字を超えると、フォルダーおよびプロジェクトの新規作成・名前の変更・コピー・移動ができない場合があります。フォルダーパスの文字数は、次の操作で確認できます。フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。プロパティの「場所:」に表示されるフォルダーパスの文字数を確認してください。

POINT

- プロジェクト一覧を最新の状態に更新するには、プロジェクトリストの空白部で右クリックし、[最新の情報に更新] をクリックします。

プロジェクトリストの文字表示色について

プロジェクトリストの文字の表示色で、プロジェクトの状態を表示します。

- 黄色の場合、プロジェクトがコピー中であることを示しています。
- 赤色の場合、プロジェクトがオフライン（必要なファイルが見つからない）であることを示しています。

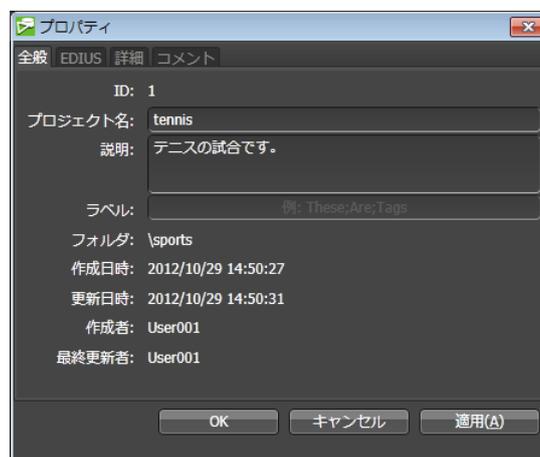
プロジェクトのプロパティを確認する

プロジェクトのプロパティを確認したり、プロジェクトにメタデータを付加したりできます。

- 1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] → プロジェクトの保存先フォルダーをクリックする
- 2 プロジェクトを選び、[プロパティ] をクリックする

**その他の方法**

- プロジェクトを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- プロジェクトを選び、メニューバーの [ファイル] → [プロパティ] をクリックします。

◇ [プロパティ]

[全般] タブ	プロジェクトの ID、プロジェクト名、説明、フォルダーパス、作成日時、更新日時、作成者などが表示されます。 [ラベル] にメタデータを入力しておく、プロジェクトを検索する際に便利です。
[EDIUS] タブ	EDIUS プロジェクトファイルの保存先パス、プロジェクトの説明、作成日時、更新日時、作成者、最終更新者が表示されます。
[詳細] タブ	各項目（所属、分類、放送日、記者、カメラ、編集者など）にメタデータを追加できます。メタデータを追加しておく、検索の際に便利です。
[コメント] タブ	コメントを入力できます。

3 各項目を設定し、[OK] をクリックする

[適用] をクリックすると、続けて他の項目を設定することができます。

プロジェクトを別のフォルダーへ移動する

プロジェクトを別のフォルダーへ移動します。

1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] →プロジェクトの保存先フォルダーをクリックする

2 プロジェクトを選んで右クリックし、[フォルダーへ移動] をクリックする

プロジェクトを複数選ぶこともできます。



その他の方法

- 次の操作でフォルダー内のすべてのプロジェクトを移動できます。メニューバーの [編集] → [すべて選択] をクリックした後、プロジェクトを右クリックし、[フォルダーへ移動] をクリックします。

3 移動先のフォルダーを選び、[移動] をクリックする

ご注意

- フォルダーパスの文字数の合計は、100 文字以内にする必要があります。100 文字を超えると、フォルダーおよびプロジェクトの新規作成・名前の変更・コピー・移動ができない場合があります。フォルダーパスの文字数は、次の操作で確認できます。フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。プロパティの [場所:] に表示されるフォルダーパスの文字数を確認してください。

プロジェクトを別のフォルダーへコピーする

プロジェクトを別のフォルダー内にコピーします。

- 1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] →プロジェクトの保存先フォルダーをクリックする
- 2 プロジェクトを選んで右クリックし、[フォルダーへコピー] をクリックする

プロジェクトを複数選ぶこともできます。



その他の方法

- 次の操作でフォルダー内のすべてのプロジェクトをコピーできます。メニューバーの[編集] → [すべて選択] をクリックした後、プロジェクトを右クリックし、[フォルダーへコピー] をクリックします。

- 3 コピー先のフォルダーを選び、[コピー] をクリックする

コピーされたプロジェクトはコピー元の ID と別の ID が付加されます。

ご注意

- フォルダーパスの文字数の合計は、100 文字以内にする必要があります。100 文字を超えると、フォルダーおよびプロジェクトの新規作成・名前の変更・コピー・移動ができない場合があります。フォルダーパスの文字数は、次の操作で確認できます。フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。プロパティの [場所:] に表示されるフォルダーパスの文字数を確認してください。

プロジェクトを削除する

プロジェクトをごみ箱へ移動します。

- 1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] →プロジェクトの保存先フォルダーをクリックする

2 プロジェクトを選んで右クリックし、[削除] をクリックする

プロジェクトを複数選ぶこともできます。



その他の方法

- プロジェクトを選び、メニューバーの [編集] → [削除] をクリックします。
- 次の操作でフォルダー内のすべてのプロジェクトを削除できます。メニューバーの [編集] → [すべて選択] をクリックした後、プロジェクトを右クリックし、[削除] をクリックします。

3 [はい] をクリックする

ごみ箱のプロジェクトを削除後の経過時間で絞り込む

プロジェクトをごみ箱へ削除した後の経過時間(削除後1週間経過または削除後1ヶ月経過)で、プロジェクトリストの表示を絞り込みます。

1 エクスプローラーペインで [ごみ箱] をクリックする

2 [絞り込み:] のリストボタンをクリックし、削除後の経過時間を選ぶ



選んだ経過時間によって、プロジェクトリストの表示が絞り込まれます。

POINT

- プロジェクト一覧を最新の状態に更新するには、プロジェクトリストの空白部で右クリックし、[最新の情報に更新] をクリックします。

ごみ箱へ削除したプロジェクトを元に戻す

ごみ箱へ削除したプロジェクトを削除前のフォルダーに戻します。

1 エクスプローラーペインで [ごみ箱] をクリックする

2 プロジェクトを選び、[選択した項目を元に戻す] をクリックする



その他の方法

- ・ プロジェクトを選んで右クリックし、[元に戻す] をクリックします。
- ・ 次の操作でごみ箱内のすべてのプロジェクトを元に戻すことができます。メニューバーの [編集] → [すべて選択] をクリックした後、プロジェクトを右クリックし、[元に戻す] をクリックします。

3 [はい] をクリックする

ごみ箱のプロジェクトを完全に削除する

ごみ箱にあるプロジェクトを完全に削除します。完全に削除すると、関連フォルダーやファイルも削除されます。

1 エクスプローラーペインで [ごみ箱] をクリックする

2 プロジェクトを選んで右クリックし、[削除] をクリックする



その他の方法

- ・ プロジェクトを選び、メニューバーの [編集] → [削除] をクリックします。

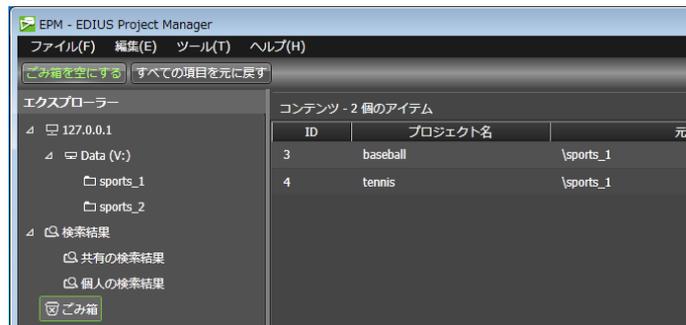
3 [はい] をクリックする

ごみ箱を空にする

ごみ箱を空にします。

1 エクスプローラーペインで [ごみ箱] をクリックする

2 [ごみ箱を空にする] をクリックする



3 [はい] をクリックする

EDIUS との連携

ご注意 ・ 管理者ユーザーと、管理者ユーザーが EDIUS との連携操作を許可している標準ユーザーのみ下記の各種操作ができます。

複数のクライアント PC でプロファイルを共有する

EPM Client のログインユーザーと EDIUS のプロファイルの連携を複数のクライアント PC 間で行うことができます。

- 1 EDIUS を起動する
- 2 メニューバーの [設定] をクリックし、[システム設定] をクリックする
- 3 [アプリケーション] のツリーをクリックし、[プロファイル] をクリックする
- 4 [使用するプロファイル] で [ローカルとネットワーク] を選ぶ
- 5 [ネットワーク参照先] の [参照先フォルダー] で [...] をクリックし、[V:¥EPM¥Data¥Profiles] を指定し、[OK] をクリックする
- 6 [システム設定] ダイアログで [OK] をクリックし、EDIUS を終了する

ご注意 ・ EDIUS 側で追加できるプロファイルは、ローカルプロファイルのみなので、EDIUS の [プロファイル] 画面でプロファイルを追加する必要はありません。

- 7 EPM Client を起動する
- 8 管理者ユーザーでログインし、任意のユーザーのプロパティのダイアログを表示する
ユーザーのプロパティの確認 ▶ P17
- 9 プロパティのダイアログの [EDIUS 連携] タブで [プロパティの設定...] をクリックする

10 [新規プロファイル] をクリックしてネットワークプロファイルを追加する

ネットワークプロファイルの作成について詳しくは、EDIOUS リファレンスマニュアルを参照してください。

追加したネットワークプロファイルは、複数のクライアント PC で共有できます。

EPM Client から EDIOUS でプロジェクトファイルを編集する

EPM Client のプロジェクトリストから選んだプロジェクトを EDIOUS で編集する手順について説明します。

POINT

- EDIOUS では、EPM Client でログインしているユーザー ID と同じ名前のプロファイルが自動的に使用されます。(同じ名前のプロファイルが EDIOUS で登録されていない場合は、初期設定のプロファイルが使用されます。)

1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] → プロジェクトの保存先フォルダーをクリックする

2 プロジェクトを選び、[編集] をクリックする



EPM Client と連携済みのプロジェクトファイルを編集する場合は、手順 4 に進みます。

その他の方法

- プロジェクトを選んで右クリックし、[EDIOUS で編集を開始する] をクリックします。

3 [使用可能なプロジェクトプリセット] からプロジェクトプリセットを選び、[OK] をクリックする

クライアント PC で作成済みの EDIOUS のプロジェクトプリセットを使用して、プロジェクトファイルを新規作成します。

[説明] にプロジェクトプリセットの内容が表示されます。

EDIOUS が起動します。

POINT

- 使用可能なプロジェクトプリセットは、クライアント PC ごとに、EDIOUS のシステム設定の [プロジェクトプリセット] で登録できます。

4 EDIUS でプロジェクトを編集する

ユーザーが EDIUS でプロジェクトファイルを編集、EPM Client では、[編集] と表示されます。[編集] と表示されたプロジェクトを他のユーザーが EDIUS で編集することはできません。



POINT

- EDIUS のピンにクリップを追加する際、[ファイルを開く] ダイアログの [プロジェクトフォルダーへ転送] にチェックを入れておくと、サーバー共有フォルダー内のプロジェクトフォルダーに自動的にクリップが転送されます。

5 編集が完了したら、プロジェクトを保存して EDIUS を終了する

プロジェクトファイルは、サーバー共有フォルダー内 (V:\EPM\Projects) に保存されます。

EPM Client では、EDIUS でプロジェクトファイルが作成されたことを示すアイコンが表示されます。



ご注意

- EPM Client と連携しているプロジェクトを EDIUS で開いている場合、プロジェクトファイルを上書きで保存することはできませんが、別名で保存することはできません。

POINT

- 次の操作で EDIUS を終了すると、次回の EDIUS の起動時間を短縮できるので、続けて編集する場合に便利です。メニューバーの [ファイル] をクリックし、[プロジェクトを閉じる] をクリックします。

EPM Client からプロファイルを切り替える

EPM Client から、EDIUS で使用するプロファイルを切り替えます。

ご注意

- EPM Client と連携しているプロジェクトを EDIUS で開いている場合、EDIUS 側でプロファイルを切り替えることはできません。

1 メニューバーの [ツール] をクリックし、[EDIUS プロファイルの変更] をクリックする

2 プロファイルを選び、[OK] をクリックする

クライアント PC で作成済みの EDIUS のプロファイル一覧が表示されます。
[説明] にプロファイルの内容が表示されます。

プロジェクトの検索

プロジェクトを検索する

プロジェクトに付加されたメタデータ情報などを検索条件に追加して、プロジェクトを一時的に検索できます。

サーバー共有フォルダー全体が検索対象になります。

検索条件を保存しておいて、常に最新の検索結果を確認したい場合は、検索結果を保存してください。

検索条件を保存して検索する ▶ P32

- 1 エクスプローラーペインでサーバーのツリーをクリックし、[Data (V:)] をクリックする
- 2 [検索条件の追加 ...] をクリックする



- 3 追加する条件を選び、[OK] をクリックする

条件を複数選ぶこともできます。

- 4 検索条件を設定する

リストボタンをクリックしたり、検索文字列を入力したりなどして検索条件を設定します。



- 5 必要に応じて、手順 2～4 を繰り返す

検索条件を削除する場合は、検索条件の右横の [×] をクリックします。

- 6 [検索] をクリックする



プロジェクトリストに検索結果が表示されます。

POINT

- 検索結果を最新の状態に更新するには、プロジェクトリストの空白部で右クリックし、[最新の情報に更新] をクリックします。

検索条件を保存して検索する

検索条件を保存しておく、常に最新の検索結果を確認できます。

サーバー共有フォルダーにアクセス可能なユーザー間で検索条件を共有することもできます。

1 検索条件を設定する

「プロジェクトを検索する」の手順 1～5 を参照して検索条件を設定します。

2 [保存] をクリックする



3 検索条件の名前を入力し、[OK] をクリックする

[共有の検索結果として保存する] にチェックを入れると、ユーザー間で検索結果を共有します。

[共有の検索結果として保存する] のチェックを外すと、ユーザー間で検索結果を共有せず、個人の検索結果となります。

4 エクスプローラーペインで [検索結果] をクリックする

5 [共有の検索結果] または [個人の検索結果] をクリックする

ユーザー間で共有している検索条件と検索結果を確認する場合は [共有の検索結果] をクリックします。



6 手順 3 で入力した検索条件の名前をクリックする

検索結果が表示されます。

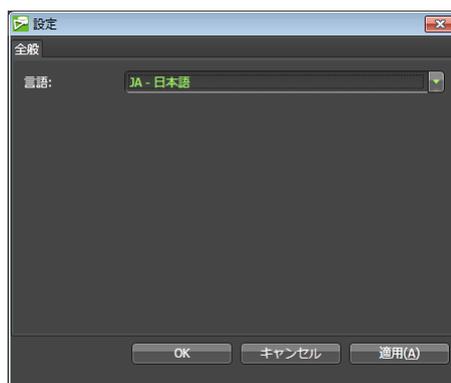
POINT

- 検索結果を最新の状態に更新するには、エクスプローラーペインで検索条件の名前を右クリックし、[最新の情報に更新] をクリックします。
- 検索条件の名前を変更するには、エクスプローラーペインで検索条件の名前を右クリックし、[名前の変更] をクリックします。
- 保存した検索条件を削除するには、エクスプローラーペインで検索条件の名前を右クリックし、[削除] をクリックします。

各種設定

表示言語を切り替える

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、[オプション] をクリックする
- 2 [言語:] のリストボタンをクリックして言語を選び、[OK] をクリックする



補足事項

よくあるご質問

ログインできない

まず、サーバー管理者に連絡し、EPM Server でサーバーサービスが起動しているかを次の操作で確認してください。EPM Server で EPM Server Maintenance を起動し、[サーバーサービス] が [動作中] と表示されているかを確認します。

次に、ネットワークドライブが正しく設定されているかどうかを確認してください。サーバー側の共有フォルダー (EDIUS-NAS) をクライアントの V: ドライブにネットワークドライブとして接続できる必要があります。接続を行うには下記の条件が必要です。

- 1) サーバー側で Guest アカウントを利用可にしている。
- 2) サーバー側の Windows ログオン時のものと同じユーザー名、パスワードをクライアントの Windows ログオン時にも使用している。
- 3) サーバー側の Windows ログオン時のユーザー名、パスワードをクライアントで資格情報として登録している。(Windows 7 のみ)

EPM Server のサーバー初期設定では Guest アカウントを許可していないため、上記の 2、もしくは 3 の方法でサーバー共有フォルダーを V: ドライブに接続できるように設定してください。

【参考】資格情報の設定方法 ▶ P35

ログの取得について

ログインできない場合やエラーが発生した場合は、クライアントまたはサーバーのログファイルの内容を確認してください。

EPM Client で取得するログファイル

EPM Client では、クライアントのログファイルが自動的に作成されます。

ログファイルが作成される場所は、「パブリック」の「ドキュメント」フォルダー内 (C:\Users\Public\Documents\Grass Valley\EPMClient) です。

EPM Server で取得するログファイル

EPM Server では、サーバー起動時に、サーバーおよび各クライアントのログイン以降のログファイルが作成されます。

ログファイルが作成される場所は、サーバー共有フォルダーのログフォルダー内 (V:\EPM\Log) です。

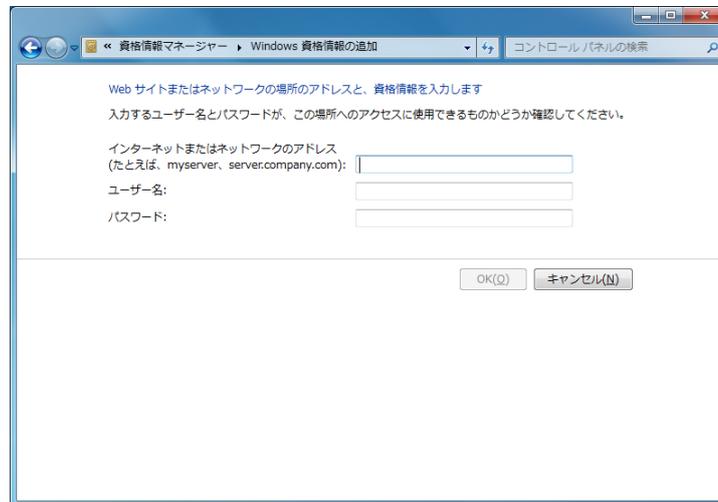
【参考】 資格情報の設定方法

Windows 7 では資格情報マネージャーを使用して、ユーザー名とパスワードなどの情報を保持しておくことで、共有フォルダーへの接続が行えるようになります。

- 1 【Windows 資格情報の管理】 画面を表示し、【Windows 資格情報の追加】 をクリックする



- 2 サーバーのアドレス、サーバーにログインする際のユーザー名、およびパスワードを入力して【OK】 をクリックする



以上で資格情報の設定方法は完了です。

ご注意

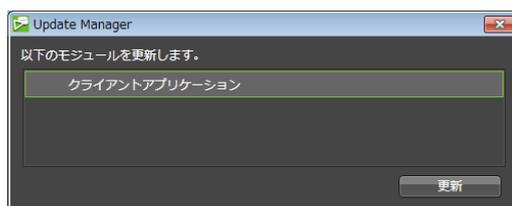
- 共有フォルダーの接続ができない場合、サーバーのアドレスにコンピューター名の登録と IP アドレスの登録を行ってください。

EPM Client のアップデート

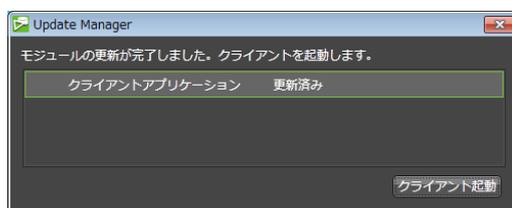
EPM Server のアプリケーションがアップデートされた後に、EPM Client を起動すると、自動的に [Update Manager] が起動します。下記の手順で EPM Client をアップデートしてください。

1 EPM Client を起動する

2 [更新] をクリックする



3 [更新済み] と表示されていることを確認し、[クライアント起動] をクリックする



4 ユーザー ID、パスワードおよびサーバー名を入力し、[接続] をクリックする